多広報 Ibaraki Public Information

2018年(平成30年) 7月1日 発行

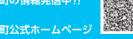
No.969 July 2018

◆編集・発行 茨城町 町長公室 秘書広聴課 **〒311-3192** 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 ☎ 029-292-1111 メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人□ 住民基本台帳 平成30年5月末現在 16,577人 女 16,422人 総人口 32,999人 世帯数 13,213世帯

◆茨城町民憲章

- ふるさとの自然を守り、美し い環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高め て、すこやかな町をつくりま
- 1 隣人や家庭の愛を大切にし て、まごころのかよい合う町 をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをも ち、活気に満ちた町をつくり ましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努 力に感謝できる町をつくりま しょう。
- ◆町の情報発信中!!



● 町公式ホームページ http://www.town.ibaraki.lg.jp/

●町公式ツイッター https://twitter.com/lbarakiTownMati/

●町公式インスタグラム





縁取りがあり、メスは一般

オスの表面は青色で黒い

よく似たシジミチョウ

には全体が黒色です。

メス

オス

里山に育む生きものたち

ヤマトシジミ

(チョウ目シジミチョウ科) 学名 Zizeeria maha (Kollar, 1844)

小菅 写真・文 次男

ば、大抵この可愛らしいヤ る食草のカタバミがあれ 道端にひっそりと咲いてい マトシジミが住みついてい 都会の中でも庭の片隅や 人里に住む普通の蝶

では広く見られる最も普 上し、青森県まで広がりまが、近年温暖化の影響で北 布するシジミチョウです した。北海道を除き、日本 岩手県、秋田県以南に分 し、青森県まで広がりま

タバミしか食べません。帰 ましい蝶です。ところが、 ジアに広く分布するたく ますが、この蝶は日本だけ 化植物のムラサキカタバミ この幼虫は普通の緑色のカ でなく中近東から東南ア 外来種の食草では? ヤマトの名をもらってい

ます。 色の地色と、オスの表面のルリシジミは裏面の純白 は後翅に短い突起があるこ 明るい青色と黒い縁取り が細いこと、ツバメシジミ によく見ると区別が付き

とで区別できます。

のですが、止まっている時 ミとツバメシジミです。飛 類の蝶が草地や荒れ地に んでいる時は見分け難い よく見られます。ルリシジ 実は、この蝶に似た2種

枚貝ですが、今回は同じ名沼特産の汽水域にすむ二

ヤマトシジミと言えば涸

前を持つ蝶の話をします。

ます。アリを味方につけて いるのです。このように幼 を持っていて、甘い蜜を分 れますが、その程度は余り 虫とアリとの共生が認めら どの外敵から守ってもらい 泌してアリに与え、 アリとの共生 幼虫の尾部付近に蜜腺 ハチな

成虫までは育ちません。 にも産卵しますが、幼虫は

原発事故の影響

高くはありません。

伝的障害がこの蝶に見らわれました。琉球大学のこ れたとの発表があり話題 響調査の対象種として扱 となりました。 も普通に見られることか ヤマトシジミがどこにで 福島第一原発事故の影

ちびつ子アー

さくらこども園



「おかあさんと 動物をみたよ♡」 いしだ のの(5歳)



「シャンシャン かわいかったよ♡」 やざわ るな(5歳)



